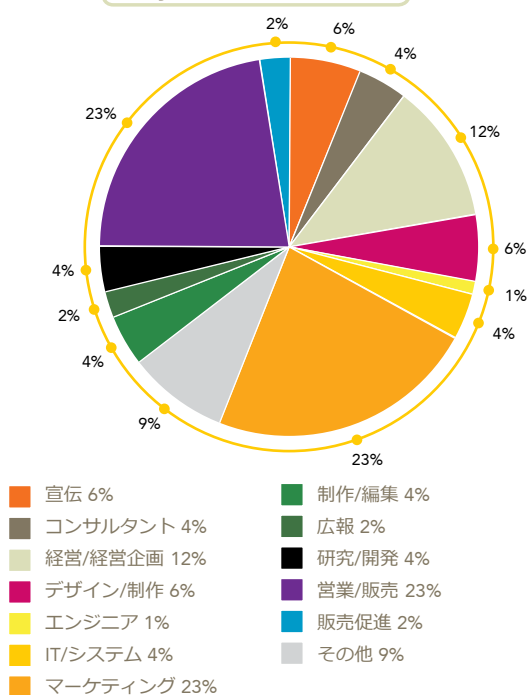


2009 Show Report

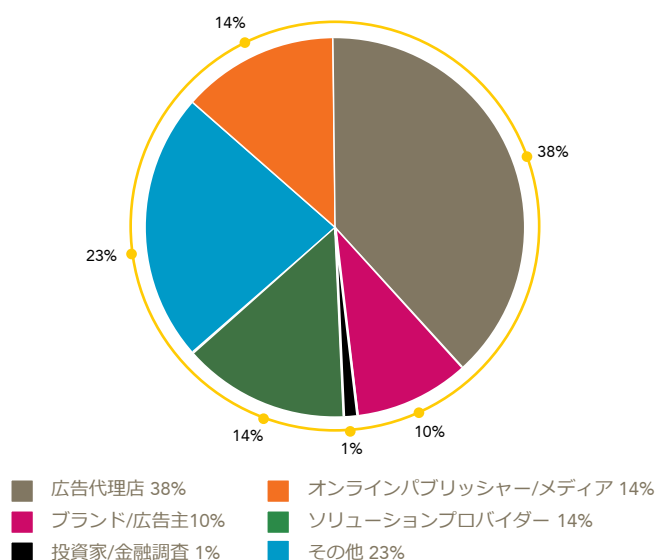
2009年9月2-3日、アドテックが東京で初開催されました。2日間の来場者実数は3,170人と、とても喜ばしい結果となりました。展示会では、協賛社14社、出展社26社が、サービスを展示・紹介しました。さらに、メディア・パートナー11社、アソシエーション・パートナー7団体のサポートを受けることができました。そして公式カンファレンスでは、114名のスピーカーに登壇頂きました。本レポートは、集められたデータを検証し、イベント参加者の属性と、お寄せ頂きました反響などをまとめたものでございます。

Breakdown of attendees at ad:tech Tokyo 2009

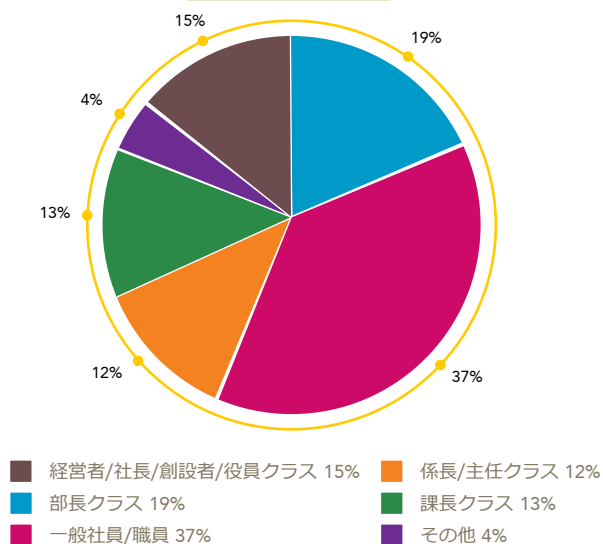
By Job Function



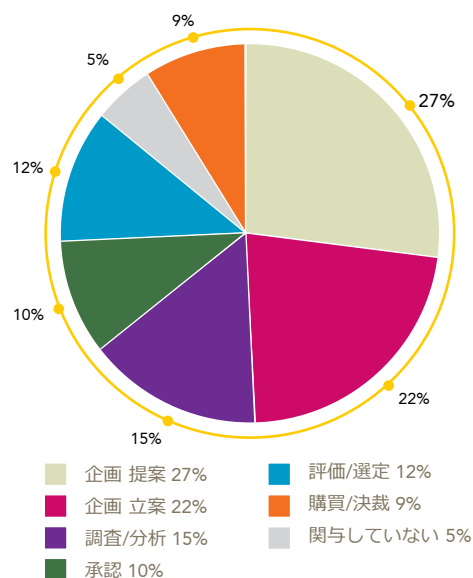
By Type of Company



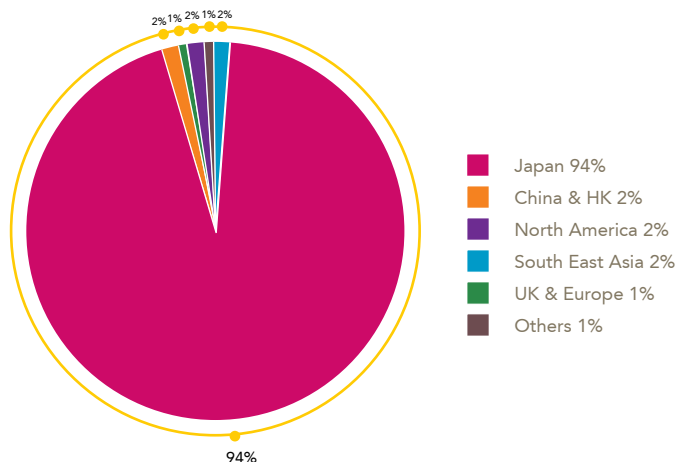
By Seniority



By Role in Advertising Purchase



By Geographical Location



Reach out to this high quality audience in 2010!

Contact us to find out more:

Paul Beckley - Vice President
paul@ad-tech.com
+65 6513 0610

ad:tech 日本事務局
武富 正人
info@adtech.co-site.jp

Sponsors

Diamond Sponsor



Silver Sponsors



dentsu



Bronze Sponsors



Sponsors



Association Partners



PR & Media Coverage

Official PR Agency

UPSTREAM ASIA
MARKETING+MEDIA

アドテック東京2009は、主要新聞、業界誌、オンライン・ポータル、ブログを含むさまざまなメディアに、取上げられました。
プリント媒体6、オンライン記事38、そして多くのブログ・ポストが生み出されました。(2009.9.30時点)

アドテック東京参加者の声

日本初開催であったアドテック東京2009は、世界屈指の業界リーダーとコンテンツが揃った素晴らしいイベントでした。また、アドテックから発信された多くのメッセージは、日本のデジタルマーケティング業界を刺激するものでした。2010年もアドテック東京に期待しています。

オムニチュア株式会社
マーケティング&チャンネルプログラム ディレクター
水嶋 ディノ

アドテックは、マーケティングに活用できる新しいテクノロジーについて関心を持ち、するどい質問を投げかけてくる多くの熱心なマーケッター達の期待に沿うことができたイベントだったと思います。新しいテクノロジーの世界への消費者の参加が急速に進んでいる今日に、アドテックでGroundswellのメッセージを伝えることができたことをとても光栄に思います。

フォレスト・リサーチ、アイデア・ディベロップメント担当シニアバイスプレジデント
ベストセラー「グラズウェル：ソーシャルテクノロジーによる企業戦略」
共著者ジョシュ・バーノフ

アドテック東京は広告やコミュニケーションについての知見を意見交換するすばらしい機会でした。カンファレンスでは、新しいアイデアを学習し、理解を深めることができました。続くネットワークセッションでは、アイデアをお互いにシェアしていくことができたのです。非常にエキサイティングな2日間でした。広告・コミュニケーション業界の方であれば、参加すべき素晴らしいイベントだと思います。みなさん、次回はぜひそこで会いましょう。

花王株式会社
WEB作成部 ディレクター
本間 充

今回日本で開催となったアドテック東京は、その特徴を十分に発揮した非常に興味深いイベントであったと思います。今後この業界がどのように発展し、変化していくのかを実際に肌で感じる事ができ、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

日本代表
クライアント・ソリューションズ
CNNアドバタイジングセールス
齊藤敦史